

予土線の今後について

JR四国発足2年後(平成元年度)の一日平均通過人員は575人。平成30年度の一日平均通過人員は312人で30年前と比較すると263人減っています。

30年前並に一日平均通過人員を回復させるためには、どれくらい利用者が増えればいいのでしょうか。

※平均通過人員(輸送密度)とは、営業キロ1km当たりの1日平均旅客輸送人員をいいます。

平均通過人員=旅客輸送人キロ÷営業キロ÷営業日数

四万十町に住むすべての人が窪川～宇和島間を1年間に約3回往復乗車すれば30年前の乗車人員まで回復する…かも…!?

このまま、予土線の利用者数が減り続けると、近い将来、廃線になってしまうかもしれません。鉄道は一旦廃止されてしまうと、復活は非常に難しく、廃線になってから「乗っていたらよかった…」「廃線反対!」と嘆いても手遅れです。

予土線を未来に残すためには、住民のみなさんの積極的なご利用が必要です。

5人以上で予土線に乗れば
予土線利用促進対策協議会
から5割の助成もありますの
で、この機会にご家族やお友
達とお誘い合わせてお出かけ
してみませんか?

予土線から見る
四万十川は絶景ですよ～

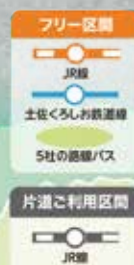


【お問い合わせ先】企画課 ☎22-3124



予土線 特集

第3弾
【全3回】



お得な切符情報



四国西南周遊レール&バスきっぷ
有効期間4日間6,600円(小児半額)

片道タイプ

JR四国ホームページでも
お知らせしています。
<https://www.jr-shikoku.co.jp/>

- ①高知駅からフリー区間を経由して松山駅まで、または逆ルートの片道タイプのきっぷです。
- ②フリー区間内では、JRと土佐くろしお鉄道の特急列車の自由席および5社の路線バス(一部路線・区間を除く)が乗り降り自由です。
- ③沿線の指定施設・店舗などでご利用いただける「特典券」が3枚つきます。

四万十町青少年育成町民会議

第6回育成事業 予土線3兄弟ツアー

11月30日「予土線3兄弟ツアー」を行い、町内の児童34人が参加しました。

JR土佐大正駅で開会式を行った後、始めに新幹線型ホビートレインに乗車し江川崎駅まで行きました。列車に乗る機会が少ない児童も、先頭車両のパノラマ景色を見ながら約30分間の列車の旅を楽しみました。



江川崎駅から、バスで松野町のおさかな館へ移動し、水族館の見学を行いペンギンと記念撮影もしました。その後、昼食をとり江川崎駅まで戻り、次にトロッコ列車に乗り大正駅に向かいます。

トロッコ列車は、窓ガラスのないオープン車両。少し寒く感じましたが、ゆっくりと走行するので、景色を楽しむことができました。

最後に大正駅でかっぱうようよ号に乗り換え、十川駅で下車し、バスで大正振興局に戻り、解散となりました。

児童は、トロッコ列車が一番楽しかった様子で、鉄橋にさしかかった時やトンネル内に入った時などは、歓声が上がっていました。

